

学校再編協議会だより (橘・田隈・甘木)

発行者 学校再編協議会 会長：大向 智樹 副会長：篠原 信久、秋葉 和彦

学校再編協議会発足【6月9日】

令和元年11月に策定した「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画 第2期実施計画」に基づき、橘中学校及び田隈中学校（銀水小学校区）並びに甘木中学校（倉永小学校区）が、令和7年4月と令和9年4月に段階的に再編され、令和7年4月に新しい中学校が生まれます。

そのため、橘・田隈・甘木中学校再編協議会が発足し、第1回の会合が田隈中学校で開かれました。まず、協議会に先立ち、本市教育委員会を代表して谷本教育長がご挨拶されました。

谷本 理佐 教育長 ご挨拶（要旨）

橘中学校・田隈中学校・甘木中学校の第1回学校再編協議会の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

皆様もご存知のとおり、社会構造の変化により、全市的に児童生徒数が減少し、学校再編を計画したところであり、本協議会は、令和元年11月策定の「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画」に基づく、学校再編を円滑に行うために設置するものです。

橘・田隈・甘木中学校の3校は、橘中学校が明治9年に創立され、田隈・甘木中学校も創立から60年あるいは70年以上の長い歴史があり、すばらしい伝統を築いてきた学校でございます。このたび、大牟田市教育委員会は、3校に対し「学校再編協議会」の設置及び協議会委員の選出をお願いしたところ、委員の皆様には、本協議会の趣旨をご理解いただき、快くお引き受けいただいたことに心より感謝申し上げます。

本協議会においては、新校開校までの約2年間、校名案の検討、校歌・校章の決定、通学路の安全対策など開校に必要な様々な事項についてご協議いただくこととなります。特に、新校の校名につきましては、市議会の議決を経て決定することとなりますが、児童生徒や保護者、学校、地域等のご意見を尊重して決めさせていただくために、当協議会に諮問を行います。

教育委員会としましては、3校の再編により新しい学校を開校するにあたり、各学校の歴史と伝統を引き継ぎながら、教育環境の充実や安全安心の確保をはじめとする条件整備等に努めてまいります。

委員の皆様には、大変ご苦勞をおかけしますが、令和7年4月に新校開校を迎えることができますよう、なにとぞご協力いただきますようお願いいたします。

<学校再編協議会の役員選出>

学校再編協議会では、「協議会要綱」の説明の後、会長に橘中学校の大向智樹校長、副会長に甘木中学校の篠原信久校長、田隈中学校の秋葉和彦教頭を選出しました。その後、谷本教育長から大向会長に「新校の学校名案について」の諮問が行われました。



教育長から協議会会長への諮問

新校の学校名案諮問理由

学校は、児童生徒の人格の形成を期すとともに、地域社会の生活・文化・教育の向上に大きな役割を担っています。したがって、橘・田隈・甘木中学校の再編整備に伴い開校する新しい学校には、子どもたちの学びの場及び地域社会形成の拠点となるにふさわしい学校名を定める必要があります。

なお、答申に当たっては、学校関係者、保護者及び地域の方々の意見が充分反映されるようお願いいたします。

<大牟田市教育委員会>

◇ 学校再編協議会委員名 ◇

| 橋中学校 | | 田隈中学校 | | 甘木中学校 | |
|----------------|-------|--------------------|-------|-----------------|-------|
| 役 職 | 氏 名 | 役 職 | 氏 名 | 役 職 | 氏 名 |
| 橋中校長（会長） | 大向 智樹 | 田隈中教頭（副会長） | 秋葉 和彦 | 甘木中校長（副会長） | 篠原 信久 |
| 橋中PTA会長 | 山本 泰史 | 田隈中PTA副会長 | 川口 因 | 甘木中PTA副会長 | 高井良直也 |
| 吉野校区まちづくり協議会会長 | 中島 之貫 | 銀水校区まちづくり協議会会長 | 森本 正人 | 倉永校区まちづくり協議会会長 | 井形 陽一 |
| 上内校区まちづくり協議会会長 | 野田 卓朗 | 銀水校区まちづくり協議会環境衛生部長 | 矢野登久男 | 倉永校区まちづくり協議会副会長 | 泉 英明 |
| 吉野小校長 | 平野 正明 | 銀水小校長 | 中村 敏明 | 倉永小校長 | 池田 茂春 |
| 上内小校長 | 馬籠 秀典 | 銀水小教頭 | 森永 隆二 | 倉永小教頭 | 山口 龍治 |
| 吉野小PTA会長 | 佐野 裕昭 | 銀水小PTA会長 | 杓瀬 純也 | 倉永小PTA会長 | 田嶋 寛啓 |
| 上内小PTA会長 | 永田 健一 | 銀水小PTA副会長 | 猿渡香奈美 | 倉永小PTA副会長 | 西山 紹隆 |

（事務局）橋中教頭：西峯 高史、甘木中教頭：黒田 真琴

☆第1回学校再編協議会協議内容☆

（1）学校名について

これまでの再編と同じように アンケートを実施し、令和5年11月を目途に教育委員会に答申する。校名案の選定方針として、既存校を閉校し新校を開校するため、旧校名そのものは使用しないが、その名前を含む校名は認めること、協議会で1案に絞ることとしました。

（2）校章・校歌について

校名の検討に合わせて、校歌・校章の決定方法や作成者の決定等を協議し、令和6年度に作成する計画となりました。



学校再編協議会の協議風景

（3）施設設備について

施設整備の要望書を令和5年11月頃までに作成し、提出することになりました。

（4）通学路安全対策について

現地調査を実施して要望事項を協議、令和5年10月頃に関係機関へ要望書を提出します。

（5）その他

- ・3校の資料の保存、PTA組織、学校施設開放委員会の再編、学校と地域の連携等について、協議を進めます。
- ・協議会で協議・決定された内容は、「学校再編協議会だより」で、保護者、地域組織、地区公民館に配布し、お知らせします。
- ・学校再編協議会の開催については、基本的に毎月1回程度、田隈中学校、または白光中学校で開催します。次回は、7月3日（月）午後7時から田隈中学校で行います。

大向智樹会長あいさつ

令和7年度の橋中学校・田隈中学校、さらに令和9年度の甘木中学校の再編に向けて、子どもたちの学びが充実する最適の教育環境を準備できる再編協議会にしたいと思えます。また、再編時に3校それぞれのよい伝統を受け継ぐと共に、新しい学校での伝統を創り上げて、学校の活性化を目指したいと思えます。そのためには子どもたちはもちろんですが、保護者・地域の皆様に「再編してよかった」と言っていただけるように、本日からの再編協議会を充実させて参りたいと思えます。皆様よろしくお願ひします。

【学校再編協議会事務局 橋・甘木中学校】